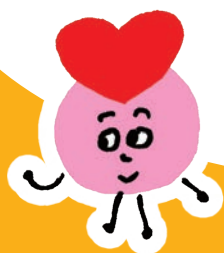


光村図書は、 「人権」の問題を どう扱ってるの？



全ての人が生まれながらにもっている、「人権」。
人種や民族、性別を超えて、誰もが幸せに生きる社会をつくって
いくために、子どもたちは、人権に対する知識と感覚を身につけて
いかなければなりません。では、道徳科の教科書として、何ができるのか。
光村図書では、次の3つのことを大切にしました。



人権に関わる「知識」を身につけるために

「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」といった人権に関わる
知識を身につけ、自由や平等などの大切な概念について
考えることができました。



人権を大切にする「感覚」を育むために

自分を大切にする事、そして自分と同じように他者を大切にする事。
それらをじっくりと考えることができました。



学び手である子どもたちの権利のために

教科書を使う子どもたちの権利を大切にするために、
子どもたちが目にする紙面のデザインや文章、挿絵などの要素について、
人権的な観点から見直しをしました。



1 人権に関わる「知識」を身につけるために

人権に関わる知識を身につけ、
人権の大切さについて考えることのできる教材を配しました。

基本的人権尊重の原則が定められている「世界人権宣言」から、自分たちがもつ権利を知り、互いの権利を大切にすることを学びます。



6年「13 世界人権宣言から学ぼう」p.80-86

6年「27 私には夢がある」p.158-163



差別をなくすために尽力したキング牧師の姿を通して、社会的な差別や偏見などに向き合い、正義の実現に努めることについて考えていきます。



5年「コラム 子どもの権利条約」p.146-147

2 人権を大切にする「感覚」を育むために

人権感覚が児童に自然と身についていくように、
さまざまな視点から題材を取り上げました。



泳げないりすさんと、どうすれば遊べるかを考える動物たちのお話を通して、違いを受け止め、共に生きることについて考えていきます。



4年「13 みんな同じだったら」p.68-71

2年「15 およげないりすさん」p.68-72

「みんな同じ」世界だったらどうなるかを想像し、かけがえのない個性について考え、自他を尊重することの大切さを学びます。

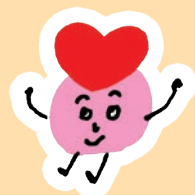


3 学び手である子どもたちの権利のために

教科書を使う子どもたちの学びを保障できるよう、
教科書のデザインや書体を検討しました。また、教科書中の文章や挿絵の表現など、
子どもたちが目にする一つ一つの要素について、人権的な観点で見直しました。

誰にでも見やすく、読みやすく

旧版からデザインや書体を見直し、全ての児童にとって見やすく、
読みやすい紙面となるよう工夫しました。

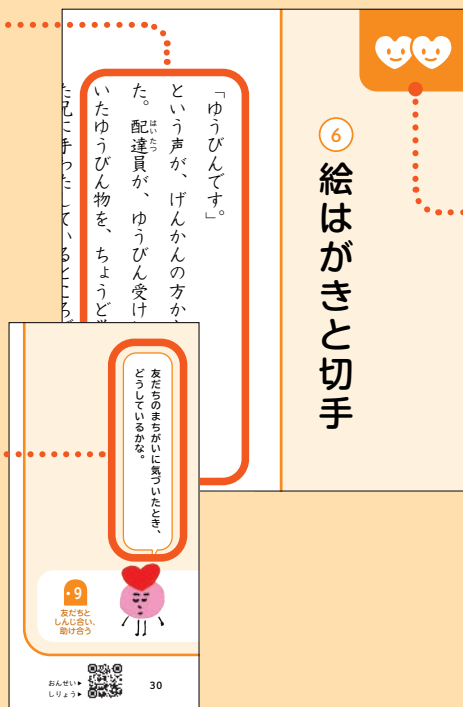


4年「6 絵はがきと切手」p.30-33

本文は、独自に開発した
「光村教科書体」を使用
しています。

文字の大きさは、発達の
段階に応じて、誰もが学
びやすいように配慮しま
した。

小さい文字にはUD(ユニ
バーサルデザイン)フォ
ントを使用しました。一字
一字がはっきりと判別で
きるようになっています。



4つの視点を、マークと色
の両方で区別できるよう
にしました。

Aの視点



Bの視点



Cの視点



Dの視点



専門家の校閲

人権教育の専門家である出口真紀子先生(上智大
学教授)に、全面的な校閲をお願いしました。

文章・挿絵

文章中に、差別的な表現が含まれていないか、教材
一つ一つを丁寧に確認しました。また、挿絵から、多
様な人々の存在を意識できるように配慮し、必要に
応じて修正をしました。

挿絵の比較例



1年「26 にほんの あそび」p.92-93

1年「27 にほんの あそび」p.110-111

光村図書出版株式会社

内容解説資料 発行者:吉田 直樹 発行所:光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 電話:03-3493-2111(代表)
印刷:協和オフセット印刷株式会社 デザイン:陽々舎

光村図書ウェブサイト

光村図書

検索

